



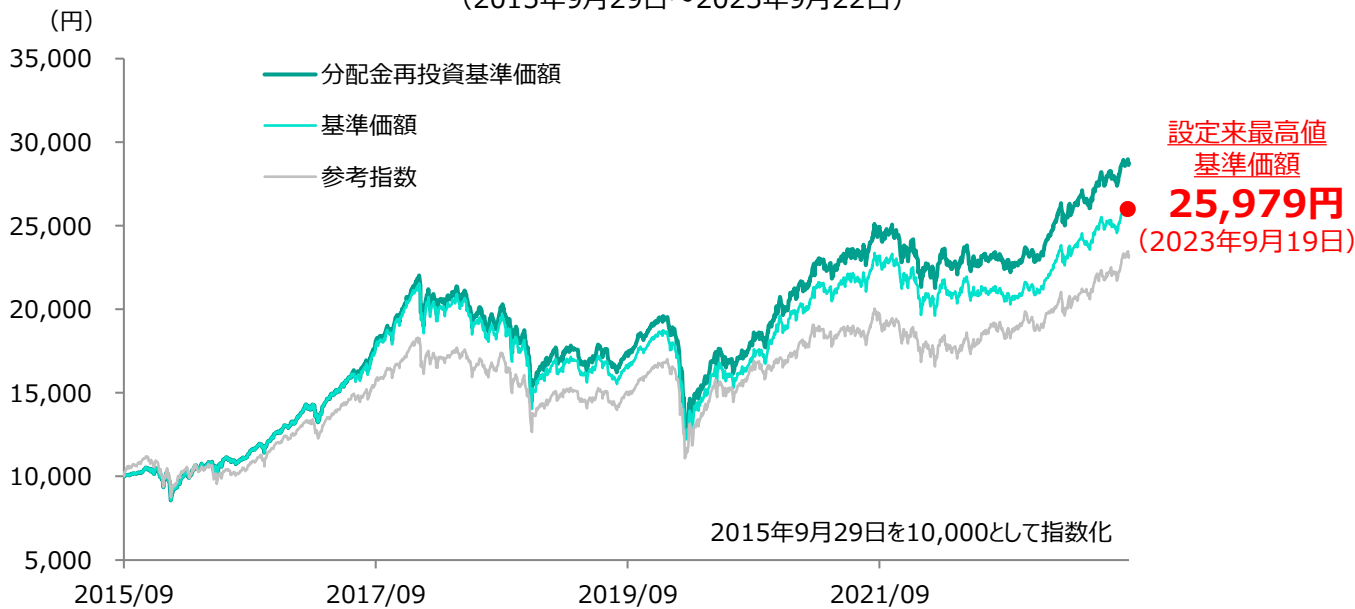
# 設定来最高値の更新を継続中

## パフォーマンス状況 (2023年9月22日現在)

- 当ファンドは長期的に高い成長が見込める銘柄に割安なうちに「待ち伏せ投資」することで、設定来、参考指数を上回る高いリターンを上げてまいりました。
- 世界的な金利上昇やインフレなど不透明感の高まる経済環境の中で、基準価額は設定来最高値を更新し続けています。

### 当ファンドの設定来からのパフォーマンス

(2015年9月29日～2023年9月22日)



### 当ファンド上位10銘柄

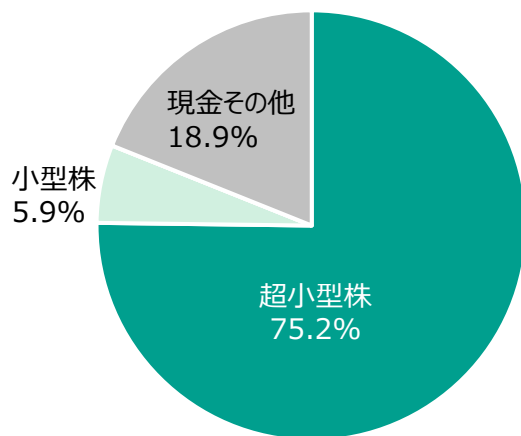
(2023年8月末)

銘柄総数：77銘柄

順位	コード	銘柄名	市場	比率
1	6121	TAKISAWA	スタンダード	1.8%
2	6946	日本アビオニクス	スタンダード	1.7%
3	6294	オカダアイオン	プライム	1.6%
4	6255	エヌ・ピー・シー	グロース	1.6%
5	1712	ダイセキ環境ソリューション	プライム	1.5%
6	7212	エフテック	プライム	1.5%
7	7353	KIYOラーニング	グロース	1.5%
8	3611	マツオカコーポレーション	プライム	1.4%
9	4064	日本カーバイド工業	プライム	1.4%
10	3526	芦森工業	プライム	1.4%

### 規模別構成

(2023年8月末)



- ※ 基準価額は信託報酬および実績報酬控除後です。
- ※ 分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬および実績報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。
- ※ 参考指数 (MSCI Japan Micro Cap指数 (配当込み)) は当ファンドのベンチマークではありません。
- ※ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
- ※ 上位10銘柄の比率は、マザーファンドへの投資を通じて実質的に投資している各投資資産の時価残高を含めて算定しています。
- ※ 規模別構成は、超小型株：時価総額合計の下部2%以下、小型株：同下部2～15%、中型株：同下部15～30%、大型株：同上部70%以上と定義しています。

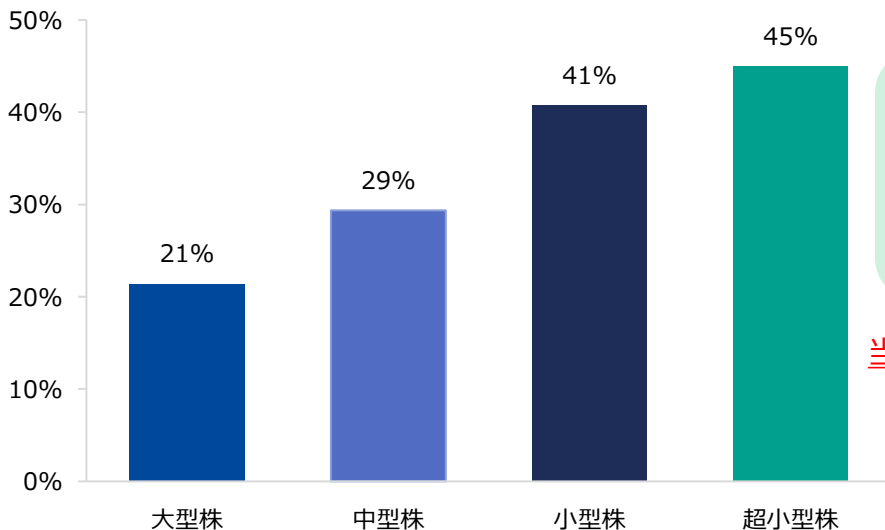
出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.

## 企業規模別でみる超小型株の魅力

- 超小型株は、時価総額の大きい銘柄と比較して割安な銘柄が多く、相対的に好パフォーマンスになる傾向があり、長期的にみると、小型株は大型株と比較して、高いパフォーマンスを創出してきました。

### PBR \*が1倍以下の日本企業の割合

(2023年8月末日)



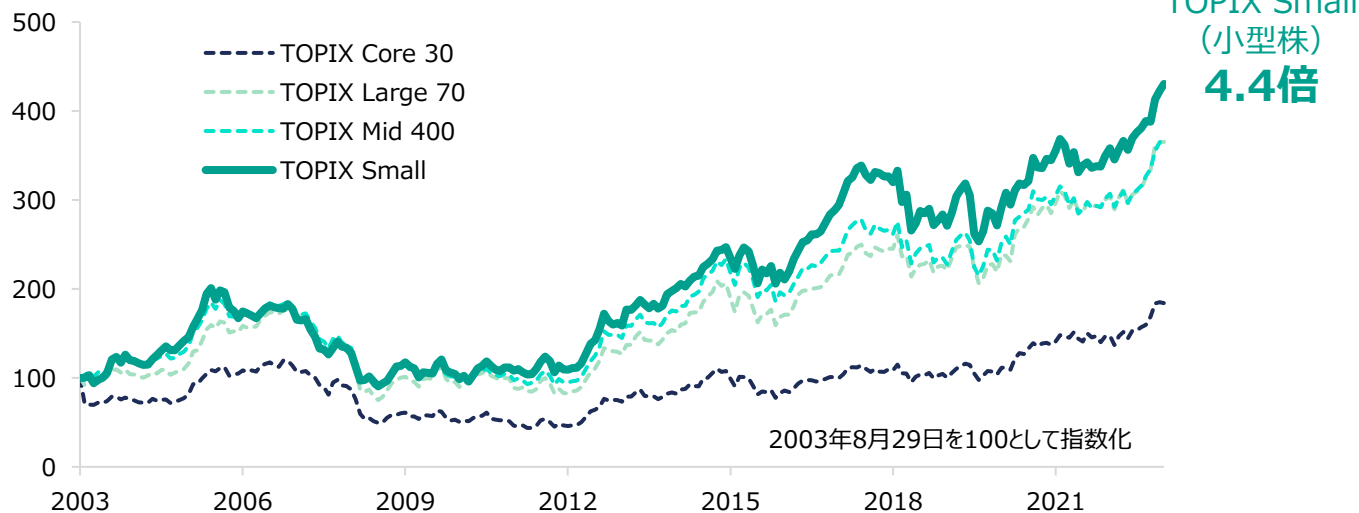
超小型株は市場から  
認識されていない銘柄が多く存在

「待ち伏せ投資」が非常に有効

当ファンド組入銘柄のPBR1倍以下の企業  
**77銘柄中39銘柄  
(50.6%)**

### 企業規模別の株価指数の推移 (過去20年)

(2003年8月29日～2023年8月31日)



TOPIX Core 30 : TOPIX算出対象のうち、時価総額、流動性の特に高い30銘柄  
TOPIX Large 70 : TOPIX Core 30について時価総額、流動性の特に高い70銘柄  
TOPIX Mid 400 : TOPIX Large 70について時価総額、流動性の特に高い順400銘柄  
TOPIX Small : TOPIXの算出対象から、TOPIX 500 (TOPIX Core30、TOPIX Large70、TOPIX Mid400の構成銘柄) の構成銘柄を除いた銘柄

\* PBR (倍) = 株価が1株あたり純資産の何倍まで買われているか = 株価 ÷ 1株あたり純資産

※ 超小型株：時価総額合計の下位2%以下、小型株：同下位2～15%、中型株：同下位15～30%、大型株：同上位70%以上と定義しています。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.

## 「待ち伏せ投資」の事例

### TAKISAWA (6121)

#### 【会社概要】

各種工作機械の製造販売

#### 【株価の上昇要因】

コロナショック以降、製造業全般で業績が拡大しづらい状況だったためしばらく株価は低迷したものの、2023年7月にニデック(6594)が同社へのTOB(株式公開買付)による完全子会社化を発表したことで株価は急騰。

#### どんな「待ち伏せ投資」?

⇒投資魅力のある超小型株に投資していれば、時価総額が小さい分、他社から買われる機会があるという事例。

#### 株価推移

(2017年8月31日～2023年8月31日)



### サックスバー ホールディングス (9990)

#### 【会社概要】

バッグや財布・雑貨類の小売販売

#### 【株価の上昇要因】

同社は財務が安定している上に小売大手として全国展開もしており、アフターコロナで消費回復の流れとなれば利益率の高いスーツケースなども旅行需要の恩恵を受けると判断して投資。思惑通り経済活動の回復に伴って業績が回復し、株価が上昇。

#### どんな「待ち伏せ投資」?

⇒消費回復への動きをとらえる投資として、赤字業績の割安な時期に投資することで成功した事例。

#### 株価推移

(2017年8月31日～2023年8月31日)



## ■ 基準価額の変動要因

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

● 株価変動リスク ● 超小型株式等への投資リスク ● 信用リスク ● その他の留意事項（システムリスク・市場リスクなどに関する事項）

※ 基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

## ■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、商品の説明、販売事務等の対価として販売会社が受け取るものです。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.5%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 （信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.914%（税抜1.74%）を乗じて得た額とします。 【信託報酬の配分：内訳（税抜）】 委託会社：年率0.90%、販売会社：年率0.80%、受託会社：年率0.04% 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の基準価額×信託報酬率
実績報酬	ハイ・ウォーター・マーク超過分の11%（税抜10%）の率を乗じて得た額とします。
監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 ※ 監査費用：ファンドの監査人に対する報酬および費用 印刷費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息

※ 当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

## ■ 指数について

### MSCI Japan Micro Cap指数（配当込み）

MSCI Japan Micro Cap指数（配当込み）は、MSCI Inc.が開発した株価指数です。また、MSCI Japan Micro Cap指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI Inc.は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

### TOPIX Core 30、TOPIX Large 70、TOPIX Mid 400、TOPIX Small

各指数は、TOPIX算出対象を、各銘柄の流動性と時価総額に応じて区分した株価指数です。各指数は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、J P X は各指数の算出もしくは公表の方法の変更、各指数の算出もしくは公表の停止または各指数の高標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

## ■ ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号  
（加入協会）一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 販売会社 下記一覧参照

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○	
東海東京証券株式会社※	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
株式会社SBI証券※	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○			
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○	○		
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○	○		
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント 株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

※ 東海東京証券株式会社、株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9170（受付時間：営業日9：00～17：00）